

## <金標準先物、ゼロコロナ政策の緩和の憶測で元高・ドル安の恩恵・・・>



(出所：オアシス)

FOMC で 4 回連続の 0.75% の利上げを実施し、パウエル FRB 議長は記者会見で「金利の最終的な水準が従来の想定より高くなることを示唆している」と発言している。そのため金標準先物は一時 7685 円まで下値を試したが、中国疫病予防抑制センターの疫学首席科学者を務める曾光氏は週末に、中国のゼロコロナ政策について、近く大幅な変更が行われると明らかにし香港株式市場は 7% を超える上昇を見せ、為替市場でも人民元が対ドルで大きく買われるなどドル安の動きを強めている。また週末の雇用統計では非農業部門雇用者数が予想を上回る 26.1 万人増となったが、失業率は予想を上回る 3.7% と悪化しており、12 月の FOMC では 0.5% へ利上げ幅が低下する思惑が強まりを見せると、ドル安が進み NY 金が大幅高を見せ、金標準先物も 7895 円まで高値を追っている。特に週末の 2 日間で 210 円の上昇を見せるなど 7750 円以下に対する抵抗を強めたケースに思える。

またワールド・ゴールド・カウンシル (WGC) は 2022 年第 3 四半期に中央銀行が過去最高の 399 トンの金を購入したと発表しており、金利高を受けた ETF などの減少をカバーしている。そのため中国政府が正式にゼロコロナ政策の緩和策を発表する期待感が市場に存在しており、再度 7950 円をトライする可能性あると思える。

### <テクニカル>

金標準先物の日足を MACD では、MACD が反転上昇し、シグナルが下げるなど強気のカロスが発生する直前である。RCI では短期が上昇し、長期は下げるなど強気のカロスは発生している。また日足が 10 日移動平均線を上回るなど強気のサインと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 3,210,000 円(2022 年 11 月 7 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円(2022 年 11 月 7 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>